

第6代板倉町長 小野田 富康

町政運営に
全力で取り組んでまいります



11月18日(月)、小野田富康町長が初登庁しました。多くの町民や職員に拍手で出迎えられ、花束を受け取った小野田町長は「板倉町のため、町民のため頑張りたい」と決意を述べました。

第6代板倉町長となった小野田町長のあいさつをお届けします。

就任にあたって

初冬の候、町民の皆さまにおかれましては各方面にてお元氣にご活躍のこととお喜び申し上げます。

前町長の勇退に伴う町長選挙におきまして、私以外の候補者がおらず、思いがけず無投票にて板倉町長の重責を担うこととなりました。未熟な私でございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、板倉町長選挙とほぼ同時期に行われたアメリカ大統領選挙において、ドナルド・トランプ氏が大統領に選出され、来年1月に就任とな



ります。世界のリーダーであり、貿易や安全保障などさまざまな分野で深い関係にある我が国としてはどのような影響があるか、注視していく必要があります。

抱える問題と対応

日本では、原油や天然ガスの価格高騰や円安の影響により食料品や日用品などの価格が上がり続けているにも関わらず、国民の賃金は上がらず、人々の生活に大きな影を落としています。また、近年多発する自然災害に後手を踏み、能登半島では復興どころか、復旧にも程遠い状況が続いています。しかし、自然災害はいつでも、どこでも起こりうることを認識しなければなりません。もちろん、板倉町も例外ではなく、備えの強化を図っていかねければならないと考えています。今まで以上に安全安心なまちづくりを進めていきます。



板倉町でも現在進行している人口減少、少子高齢化の問題。当然、農業、商工業ともに今の産業構造を維持していくことは難しいと思います。農業では、農協や邑楽土地改良区などと協力しながら、さらなる農地集積・集約化やコスト削減、効率化を進めます。商工業では商工業者との連携を強化し、起業家や若手経営者を支援していきます。

ほかにも、東洋大学撤退に伴う跡地利用やまだ完結していない板倉ニュータウン開発老朽化したインフラや公共施設の整備など、問題が山積している状況にあります。

4つの強化

①財政の強化
産業団地を新規に造成し、企業誘致や雇用の創出を目指します。

②教育・子育て・福祉の強化
現在も他市町と比較しても

高水準となっておりますが、教育の質の向上を目指し、さらにできることは何でもやっていきます。

③情報発信の強化

町内には行政情報や問題点、各種行事などリアルタイムで発信していきます。また、町外には板倉町の魅力を発信していきます。

④広域連携の強化

館林都市圏（1市5町）や渡良瀬遊水地を囲む4市2町で連携し、観光や防災、利根川・渡良瀬川新橋建設など取り組んでいきます。

10年、20年先の板倉のために

板倉町が抱える問題の解決や発展のために、町民目線・対話重視の町政を行っていきたいと思っています。そのため、町民の皆さんも自分たちの問題として、主体的に動いていただかなければなりません。そうしなければ地域の問題は解決しません。当然、役場職員にも主体的な行動を求めています。

結びに、町民の皆さまのご多幸を心より祈念申し上げますとともに、次世代へしっかりとバトンを渡すために、全力で町政運営に取り組むこととお誓いし、就任のあいさつといたします。

小野田 富康 profile

昭和47年4月25日生まれ
群馬県立太田高校卒業、成城大学法学部法律学科卒業
板倉町広報編集委員会委員長、板倉町国民健康保険運営協議会委員、板倉消防団長、板倉町立西小学校PTA副会長、板倉町議会副議長を歴任
宅地建物取引士、防災士の資格を持つ。
趣味は馬術で大学時代には馬術部の主将を務めた。

